

● 最近の県内経済

基調判断

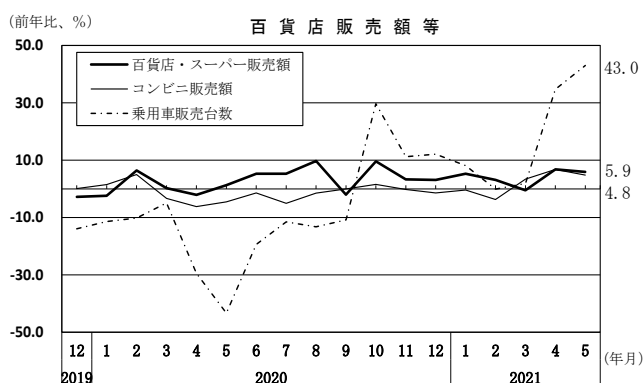
(2021年5月を中心として)



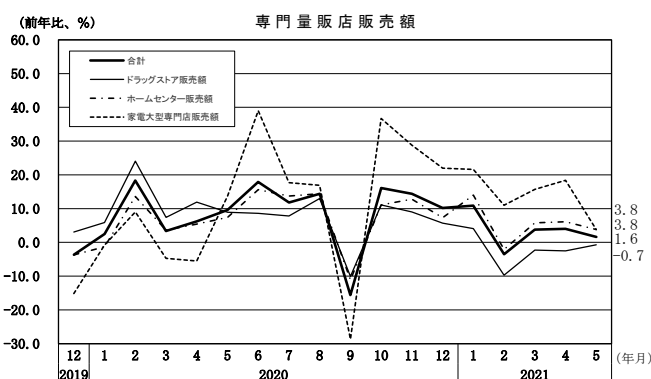
今月の概要

県内景気は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられるなど、依然として厳しい状況にある。

1 個人消費 持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など



(資料) 経済産業省

5月の百貨店・スーパー販売額（店舗調整前）は、1,114億円で前年比5.9%増となった。百貨店は同128.2%増で4か月連続の増加、スーパーは同0.2%減で3か月連続の減少となった。一方、コンビニ販売は538億円で同4.8%増と、3か月連続の増加となった。

乗用車販売は、前年比43.0%増と3か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車（同9.6%増）は2か月連続の増加、普通車（同42.2%増）、軽乗用車（同85.1%増）はそれぞれ8か月連続の増加となった。

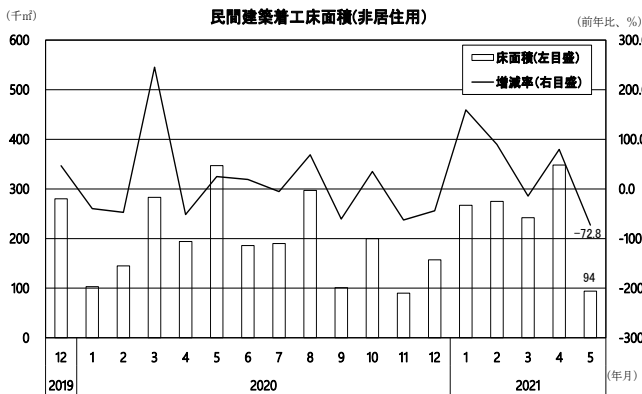
前月同様、百貨店・自動車販売を中心に、昨年4月から5月にかけて発出された緊急事態宣言による消費の落ち込みの反動が表れた結果となった。

5月の専門量販店販売額は、780億円で前年比1.6%増となった。内訳をみると、ドラッグストアが380億円で同0.7%減（4か月連続の減少）となったものの、家電大型専門店が197億円で同3.8%増（8か月連続の増加）、ホームセンターが204億円で同3.8%増（3か月連続の増加）となった。

家電大型専門店やホームセンターは、巣ごもり関連商品が好調に推移している。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、4月〈35.3〉、5月〈34.8〉、6月〈38.2〉で推移している。

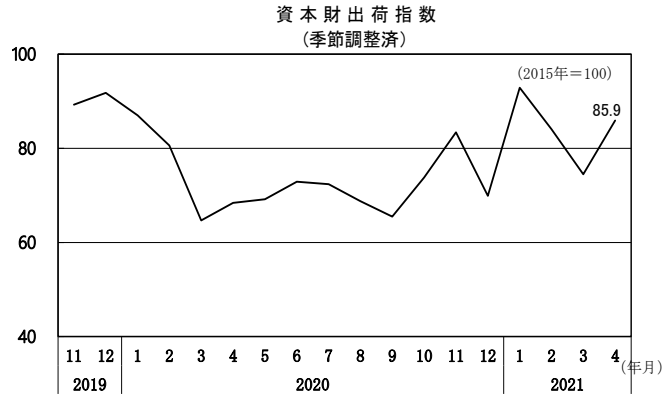
2 設備投資 持ち直しの動きがみられる



(資料)国土交通省

5月の民間建築着工床面積（非居住用）は、94千㎡で前年比72.8%減となった（5か月後方移動平均では前年比14.4%増）。

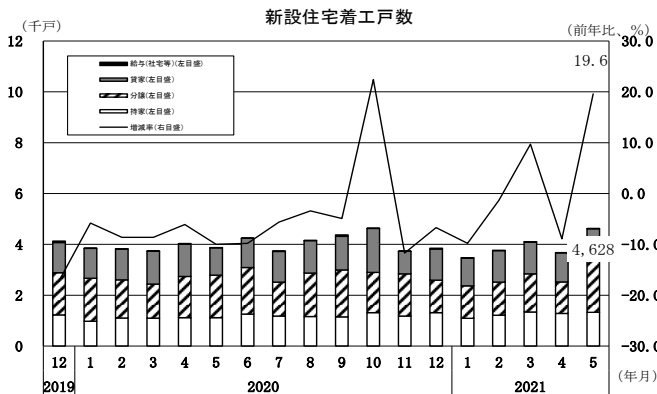
用途別にみると、事務所、店舗、病院・診療所は増加したものの、工場及び作業場、倉庫はいずれも減少した。



(資料)埼玉県

4月の資本財出荷指数（季節調整済）は85.9で、前月比15.3%増と3か月ぶりの増加となった。（5か月後方移動平均では、前年比0.5%増）

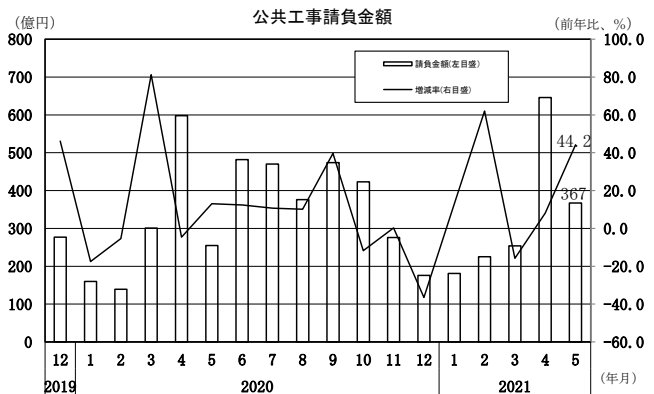
3 住宅建設 持ち直しつつある



(資料)国土交通省

5月の新設住宅着工戸数は、4,628戸で前年比19.6%増と2か月ぶりの増加となった（5か月後方移動平均でも、1.7%増）。利用関係別にみると、分譲一戸建（1,180戸）が同1.7%減となったものの、持家（1,331戸）が同18.8%増、貸家（1,219戸）が同13.5%増、分譲マンション（887戸）が同88.3%増となった。

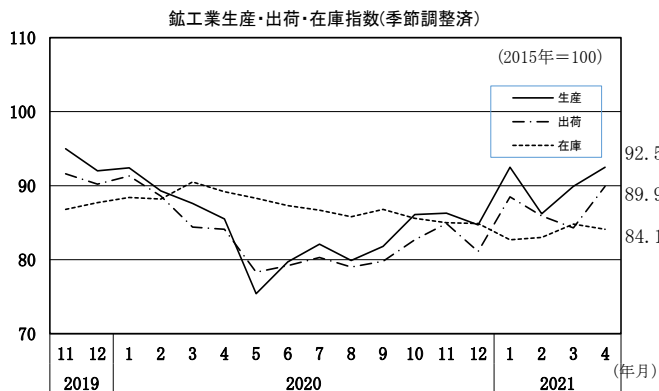
4 公共工事 増加基調



(資料)東日本建設業保証株式会社

5月の公共工事請負額は、367億円で前年比44.2%増となった（5か月後方移動平均でも前年比15.2%増）。発注者別でみると、独立行政法人等は減少したものの、国、都道府県、市区町村はいずれも増加した。

5 生産活動 持ち直している

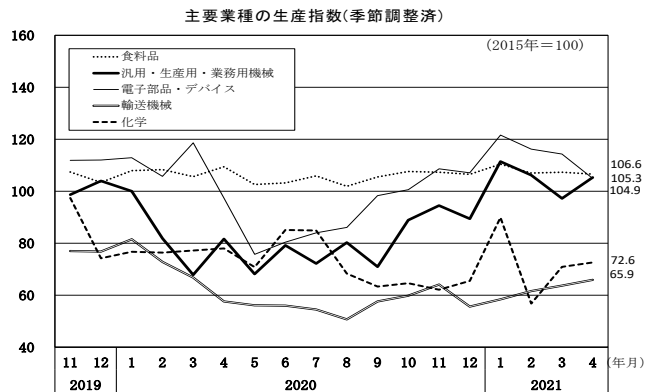


(資料)埼玉県

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、92.5で前月比2.9%増加(2か月連続の増加)。電子部品・デバイス(スイッチング電源、電子回路基板)、業務用機械(医療用機械器具、パチンコ)などが低下したが、生産用機械(半導体製造装置、食料品加工機械)、汎用機械(空気圧機器)などが上昇した。

出荷指数(同)は、89.9で同6.6%増加(3か月ぶりの増加)。業務用機械(医療用機械器具、パチンコ)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)などが低下したが、生産用機械(半導体製造装置、食料品加工機械)、情報通信機械(カーナビゲーション、ガス警報器)などが上昇した。

在庫指数(同)は、84.1で同0.8%低下した(3か月ぶりの低下)。情報通信機械(ガス警報器、電話機)、輸送機械(乗用車、完成自転車)などが上昇したが、鉄鋼業(普通鋼小形棒鋼)、プラスチック製品(プラスチック製容器、発泡プラスチック製品)などが低下した。



(資料)埼玉県

◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、106.6で前月比0.7%低下し、2か月ぶりの低下となった。

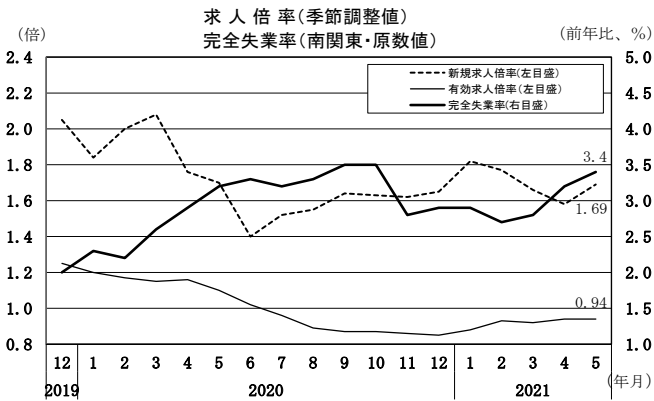
◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、105.3で同8.3%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

◆ 電子部品・デバイス(同)は、104.9で同8.2%低下し、3か月連続の低下となった。

◆ 輸送機械(同)は、65.9で同3.5%上昇し、4か月連続の上昇となった。

◆ 化学(同)は、72.6で同2.4%上昇し、2か月連続の上昇となった。

6 雇用情勢 弱い動き

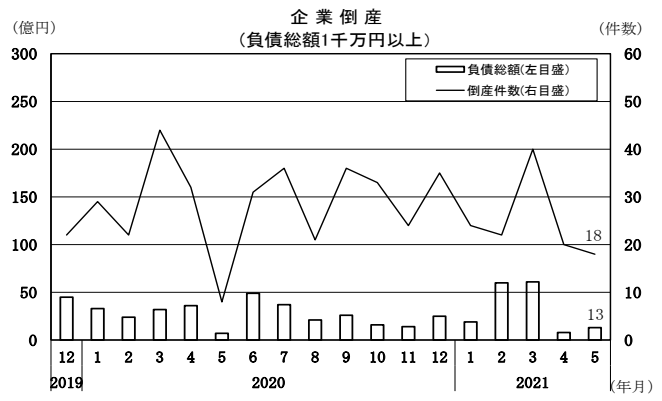


(資料)厚生労働省、総務省

5月の有効求人倍率(季節調整済)は、前月比横ばいの0.94倍となった。依然として11か月連続で1倍を下回っている。新規求人倍率(同)は、1.69倍で同比0.11ポイント上昇(4か月ぶりの上昇)した。

完全失業率(南関東、原数値)は、3.4%で前年同月比0.2ポイント上昇した。(前年同月比16か月連続の上昇)

7 企業倒産 一進一退



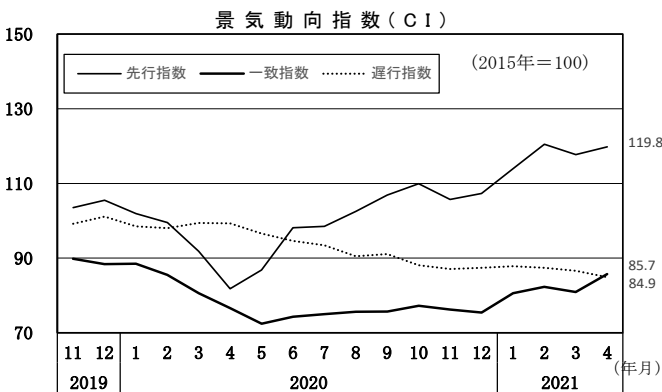
(資料)帝国データバンク

5月の企業倒産件数は、18件で前年同月比10件の増加となった。負債総額は13億円で同6億円の増加となった(5か月後方移動平均では、件数は前年比8.1%減、金額は21.9%増)。

業種別にみると、サービス業が7件で最も多く、建設業5件、製造業および卸売業が2件で続いている。主因別では、販売不振が14件となっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI) 改善を示している



(資料)埼玉県

4月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、85.7で前月比4.8ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、119.8で同2.1ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、84.9で同1.7ポイント低下し、3か月連続の低下となった。